（第2号様式）

久米島第2022号
令和2年3月18日

沖縄県教育委員会教育長　殿

沖縄県立久米島高等学校
校長　　石 原　　啓

令和元年度県立久米島高等学校学校評議員について(報告)

令和2年1月8日付け教県第2038号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1　日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和元年7月16日 14:50～16:50	場所	久米島高校視聴覚室	出席状況	評議員5名中5名出席
第2回	日時	令和元年12月20日 16:00～17:00	場所	久米島高校小会議室	出席状況	評議員5名中3名出席、2名欠席
第3回	日時	令和2年3月17日 11:50～12:55	場所	久米島高校小会議室	出席状況	評議員5名中4名出席、1名欠席

2　学校評議員に求めた事項

・授業及び校内を観察後、学校の課題についての指摘と改善策の助言を依頼。
・本校の現状や課題に対する取組等を報告し、その方策等についての助言を依頼。
・評議員（警察、保育園長、農業、そろばん塾経営、町議会議員）の立場から、学校の活性化に向けた取組への提言を依頼。
・地域住民の立場から地域の活性化や今後の本校への人材育成等の要望や情報等の提供を依頼。

3　学校評議員の意見

・（2学期に）オートバイ事故で1名の生徒が足を骨折したので、安全教育の徹底をして欲しい。
本島に比べて生徒は落ち着いているように感じる。引き続きオートバイやその他夜間指導も含め継続してパトロールを行うので高校も協力をお願いしたい。
・公立久米島病院が埼玉看護専門学校と連携した奨学金制度があると聞いたが活用する生徒がいないので、活用して欲しい。
・文武両道が理想だが、子ども達も個性があって得手、不得手があるので得意なことをどんどん伸ばして欲しい。子ども達の成長を我々地域もサポートしていきたい。

4　学校運営に反映した事項

・交通安全指導については個別指導のほか、全体集会や学年集会でも指導を行った。
生徒指導で懲戒指導を受ける生徒が減ってきている。退学者もH30、R1と2年連続いなかった。
・公立久米島病院が埼玉看護専門学校と連携した奨学金制度を利用して1名進学した。
・陸上競技で久しぶりに全国大会出場者が出た。また、種々の海外への短期留学に8名参加したり、国公立大学の進学者も7名出たりするなど様々な生徒達の活動をサポートできた。

5　課題その他

・野球部の部員がいなくなってしまったのでそれを復活させるなど、部活動の更なる活性化を図ること
・家庭学習の習慣化
・読書の推奨